

科目	博物館学	担当	松原 隆治	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

博物館には「古い建物とかびくさい空気、それに骨董品のコレクション」というイメージが付きまとい、それゆえに若い人々に敬遠されがちである。しかし、世の中が情報化社会、生涯学習社会へと変貌を遂げるにつれて、博物館も図書館と並び、さまざまな年齢の人々の知的欲求を満たす施設として重要性を増してきた。それに伴い博物館も従来のイメージから脱却して、楽しくすばらしい施設へと変わりつつある。博物館がまちづくりの核となりうる存在であることを理解してもらえよう講義を進めたい。講義では、博物館の魅力をたっぷりと紹介し、学生諸君に博物館へ足を運ばせることを目標としている。これを契機に博物館を積極的に利用してもらえたらと期待している。この講義を受講することにより、博物館を身近な生涯学習施設として有効利用する気持ちが芽生えるはずである。

【履修注意】

授業では、多くの博物館のホームページへアクセスして情報検索をするためにスマホ(パソコン)を使用するので、毎回使用可能な状態のスマホ(パソコン)を持参すること。ただし、言うまでもないが授業に無関係なスマホの使用は禁ずる。居眠りも慎むこと。他の受講者の迷惑になる遅刻、私語は厳禁。

【評価方法】

出席状況、毎回の小レポート、博物館見学(2ヶ所)レポートなどによって総合的に評価。6回以上欠席した場合は博物館見学レポートを提出しても受け付けず、失格とする。再試験は行わない。

【試験について】

第16週目に理解度確認のためのテストは行うが、実質的には博物館見学レポートを定期試験に代える。

【予習・復習】

2単位科目なので、90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。復習として、授業で紹介した博物館のHPを隅々まで見ておくこと。

【教科書】

購入図書はない。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	生涯学習と博物館	博物館とは何か。博物館を楽しもう。
2	博物館とは	博物館関連法規、博物館の目的・機能・分類。
3	博物館の歴史(1)	欧米の博物館の歴史、大英博物館、スミソニアン博物館群。
4	博物館の歴史(2)	日本の博物館の歴史、正倉院、物産会、万国博覧会。
5	博物館資料	博物館の資料をめぐる問題。
6	博物館の展示	博物館の展示方法。
7	博物館の教育	博物館の教育普及活動。
8	博物館と情報	博物館の情報提供と活用方法。
9	博物館と地域社会	地域文化活性化に果たす博物館の役割。
10	動物園と水族館	動物園、水族館、非日常性。
11	美術館	感性の館、美術館機能、美術館教育。
12	大学の博物館	研究、大学教育、高度な専門性。
13	企業の博物館	宣伝と社会貢献としての企業博物館。
14	野外博物館	風土記の丘、明治村、リトルワールド。
15	未来の博物館	余暇、観光、生涯学習。
16	全体のまとめ	復習、確認、総まとめ。